

S S K
群なんねん

群難連機関紙

新刊 68号

編集人

群馬県難病団体連絡協議会

群馬県前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉総合センター内
〒371-0843 TEL・FAX 027-255-0035

《群難連ホームページアドレス》

<http://www.g-nanbyo.server-shared.com/>



**全国の仲間にも先駆け
10月第1土曜日に行動**

2016年度国会請願署名行動

10月1日（土）、イオンモール高崎のご協力をいただき、モール街頭において、連合群馬、群馬県医療ソーシャルワーカー協会のご支援と患者会の患者・家族、総勢29名が2時間の街頭署名行動を行いました。

医療・福祉・介護・年金等、総合的対策の実現に向けた国会請願署名

- ①難病法基本方針の早期実現に向けた総合的対策を進めて下さい
- ②医療費の負担軽減、高額療養費制度のさらなる見直しを
- ③難病や長期慢性疾患をもつ子どもたちや家族への支援、成人期対策の充実を
- ④医師・看護師・専門スタッフの不足、地域医療、専門医療の地域格差の解消を
- ⑤都道府県難病相談支援センターの充実、「全国難病センター」の設置を

以上、5項目の内容で署名をお願いしました。

子ども連れの家族や学生の方が多く署名協力していただき、当日は683筆の署名を集め

ることができました。

来年5月29日の国会請願行動に皆さんからいただいた大切な署名を大きな力に変え託します。



署名行動に参加して

連合群馬青年委員会 松村 亮之

今回は連合群馬青年委員会からの参加でした。

身近に難病で苦しんでいる方がいないので、実感がほとんどありませんでしたが、今回参加した中で難病を持ちながらも一生懸命同じ難病を持つ仲間や家族に対し、国を動か

すために署名をお願いする姿を見て今回の行動の大切さを感じました。

仲間を救う気持ちが厚く、1人でも多くの署名を集めるために必死で呼びかけを行っている姿を見ていると、私たちこそ率先して頑張らないといけないと感じました。

いつ、だれが、どんな時に発症するかもわからない難病に対し、国を挙げて取り組んで行くことの大切さを考えながら、今後はできる範囲で協力したいと思います。



署名行動スナップ



街頭署名行動に参加して

群馬県医療ソーシャルワーカー協会副会長
老年病研究所附属病院 狩野 寛子

昨年度に引き続き「全国いっせい街頭署名行動」に当協会会員6人が参加させていただきました。

群難連の方々と一緒に買い物客へ声をかけ、ご自身が病を抱えながら懸命に訴えられている姿に日頃のご苦勞をひしと感じまし

た。国会への請願内容を説明するとじっくり耳を傾けてくれる方がいらっしやり、直接、目を見て語ることで、気持ちが伝わっていると実感したのです。たくさんの方に思いが通じ、署名によって皆さまのための難病施策が実現するよう心から願っております。

私たちソーシャルワーカーにとっても患者さんの困難さに寄り添いつつ、社会へ働きかけていくことの大切さを教えていただき大変尊い経験となりました。今後も継続してご協力したいと考えております。